ルーテル学院報 Luther no.5

思い出話に花が咲く（ホームカミングデー）

さわやかな秋風のもと、ホームカミングデー＆フィリア祭、にぎやかに

大学生も大忙し（フィリア祭）

なつかしい顔が出会う一日

開会礼拝（中高礼拝堂）

11月３日の文化の日、ルーテル学院・九州女学院同窓会のいばら会主催によるホームカミングデーおよび、九州ルーテル学院大学学生自治会主催による学園祭「フィリア祭」が同時開催され、約600名の参加者でにぎわいました。

ホームカミングデーは、卒業生の皆様が旧友や懐かしい恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めていただくため、そして何より「母校に帰ってきて当時の思い出に浸っていただきたい」という思いを込めた企画であり、今回で７度目となります。

プログラムは開会礼拝に始まり、ミニコンサート、食バザー、懐かしい制服試着会、福引交換等が行われました。

また、フィリア祭は「咲～満開　REVOLUTION」と題して、思い出の花をたくさん咲かせよう、また自分だけが楽しむだけでなく、来ていただいた皆様に楽しんでいただけるものを創ろうというテーマで開催されました。

来年のホームカミングデー＆フィリア祭も11月３日に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

Contents

さわやかな秋風のもと、ホームカミングデー＆フィリア祭、にぎやかに…… 1
〝感恩奉仕〟を心に刻む　－学院創立87周年記念式典－ …… 2
90周年コラム　ルーテルと私 …… 3
ルーテルスポットライト…… 6
聖書の言葉…… 6
ルーテル学院ヒストリー…… 7
インフォメーション…… 8

NEWS

〝感恩奉仕〟を心に刻む

―学院創立87周年記念式典―

10月3日、九州ルーテル学院創立記念式典が中高チャペルで開催され、全教職員と関係者をあわせて160名が参加しました。

開会礼拝に始まり、清重尚弘院長のメッセージ、永年勤続表彰、来賓代表として本校の卒業生である平田晶子氏（熊本県上天草市議会議員）の挨拶、および学院倫理綱領の朗読が行われ、学院が一体となった式典となりました。

また、永年勤続表彰者を代表して、恒松千佳子教諭（中高）が「これまで出会った教職員をはじめ生徒、保護者、教育行政関係者等多くの皆さんのご支援ご協力をいただき感謝している。現在も勤務できているのは偶然ではなく神様の導きであることを忘れず、これからも学院の発展を願って働きたい。」と謝辞を述べました。

建学の精神の大切さを語る吉田茂生氏

その後は、吉田茂生氏（西南学院理事長）をお招きし、「建学の精神を教育につなげる」をテーマに研修会が開催されました。西南学院での建学理念に基づく、宗教教育、ボランティア活動、地域貢献等を学びました。

特に、ボランティア活動については、東日本大震災緊急支援委員会を震災の3日後に立ち上げ、今年までに約300名の学生を被災地に派遣されていること、また、参加した学生が自発的に支援団体を設立し、〝離れていてもできること〟を自ら考え、街頭募金や子どもたちへクリスマスカードを郵送するといった活動が紹介されました。

吉田氏の講演に引き続き、幼稚園から谷美和教諭、中高から上原栄作教諭、大学からは西章男准教授より建学の精神「感恩奉仕」の実践教育の報告がなされ、充実した一日となりました。

恒松千佳子先生のスピーチ

第4回 ルーテル・アート・エキシビションを終えて

ルーテル学院高等学校　芸術コース　美術専攻
教諭　石村桂輔

7月31日から8月5日の6日間、上通りのアートスペース太宝堂におきまして、ルーテル学院高校芸術コース（美術専攻）卒業生による美術作品展「第4回ルーテル・アート・エキシビション」を開催しました。

この展覧会は、本校の芸術コースを支援する会「ルーテル・アート・アカデミー」の企画により、東京藝術大学や愛知県立芸術大学、多摩美術大学など難関美術系大学を卒業、または在籍中のメンバーを中心に選ばれた17名の出品者による美術作品展です。

今回は、油絵、水彩画、版画、立体など、具象、抽象問わず、それぞれが自分の表現スタイルで制作した作品75点が展示、販売され、半数近くの作品が購入される盛況ぶりでした。来場者も400名近くあり、多くの方に芸術コース卒業生の活躍を披露することができました。

次回は2015年の夏、同じ会場で第5回目を開催予定です。

この美術展にご支援、ご協力頂いた多くの関係者のみなさまに感謝申し上げます。

ハイレベルな作品が展示されました。

90周年コラム

ルーテルと私

株式会社セルモ 代表取締役社長 岩上梨可
九州女学院高等学校48回卒業生

創立九十周年を、三年後に控え、このような晴れの時を共にお祝いできますこと、心から誇りに存じます。

私にとって、この学院で過ごした日々は大変忘れがたく、また今日の自身を作り上げる上で欠くことのできない時間だったと、当時を振り返っております。

勉強も遊びも、何事にも全力投球。すばらしい教師と友人に恵まれ切磋琢磨しあう仲で、培われたことは多く、きっと若き悩みも抱えていたのでしょうが、今となってはそれも思い出せないほど、楽しかった記憶ばかりがこの胸に刻まれております。

学院の理念であります「感恩奉仕」という言葉の意味を、その頃はまだ理解できていなかったかもしれません。ですが、成長するにつれ、深くこの身に刻まれていったように感じます。

現在は経営者という立場になり、人のために尽力することの素晴らしさを痛感する毎日です。乗り越えられない試練など無く、与えられた境遇を受け入れて感謝する気持ち。それこそが学院から学んだ精神でした。

これからも変わらぬ教育理念が代々に受け継がれ、九州ルーテル学院が更なる発展を遂げられますことを祈念いたしております。

九州の学生指導担当者が集結

～学生指導研究集会開催～

9月5日～6日の2日間、九州地区学生指導研究集会がメルパルク熊本を会場に開催されました。2013年度は、九州ルーテル学院大学が幹事校として、準備と当日の運営を行いました。

この研究集会は九州地区の大学・短大・高等専門学校の学生支援に関わる部署の担当者65校126名が一堂に会し、午前中は講演と事例報告、午後は分科会に分かれての情報交換を行いました。

本学心理臨床学科の河津巖教授が「障がい学生支援と合理的配慮」と題して、本学の事例をとおして講演。

その後、「ピアサポーターの新入生オリエンテーションへの参画事例」報告（熊本保健科学大学）、学生と取り組む「友達作ろうプロジェクト」の事例報告（東海大学阿蘇キャンパス）などが行われました。

午後からの情報交換では、国立、私立、短大・高専に分かれて、キャリア支援の在り方、事件・事故の対応、課外活動の活性化など熱心に意見交換が行われました。

分科会報告会

河津巖教授による講演

「Kumamotoから世界へ」

College

大学

オーストラリアへの留学

人文学科キャリア・イングリッシュ専攻
3年　大友春佳

昨年、8月後半から今年の3月までの約7か月間、ムラサキスポーツ奨学生として、オーストラリアのフリンダース大学内の語学学校に留学させていただきました。

7か月間の留学を通して、最高の友人と出会い、最高のホストファミリーと出会い、様々なことを学ぶことが出来ました。語学学校では、speaking/writing/listeningの授業を毎日受講し、世界中から集まった仲間たちと教え合いながら、楽しく勉強を行いました。7か月間一緒に過ごしたホストファミリーは、日本が大好きな理解のあるご家族で、私を本当の娘、家族の一員として扱ってくれ、楽しい時も辛い時も、そばで支えてくれました。

今回の海外留学を経て、語学面での成長はもちろん、精神的な成長をもすることが出来ました。すべての経験を糧として、残りの学生生活も、将来の夢に向けて努力を怠らず、しっかり満喫したいと思います。

世界に友達ができました。最前列一番右が大友春佳さん

異文化体験学習　新プログラムグルーンウォルド・ギルドとは

グローバルセンター長　教授　松本充右

大学の異文化体験学習の新しいプログラムとして、2013年夏から始まったグルーンウォルド・ギルドを紹介します。グルーンウォルド・ギルドはアメリカ北西部シアトルから車で3時間ほど内陸部に入ったレベンワースにある芸術活動のための保養施設です。

樹木が鬱蒼（うっそう）と茂る木立の中に瀟洒（しょうしゃ）な建物がいくつか点在し、滞在するゲストはスタッフの指導の元で、陶芸、織物製作、ステンドグラス制作など様々なアート製作活動をしながらゆったりとした時間を過ごします。ゲストは忙しい日常を離れ、豊かな自然の中でのんびりした時間を過ごしながら、自己の内面を見つめ、信仰心を育みます。

ギルドでは毎日決まった時間に全員で食事をすることが慣わしとなっており、日本流に言えば「同じ釜の飯を食う」ことでコミュニティとしての結束が高まっているようでした。また、毎日2回の礼拝があり、詩の朗読や賛美礼拝などを様々な形式で礼拝が行われます。

本学の学生は4週間施設に滞在し、キッチンやアートクラスのスタッフとして奉仕活動を行いながら英語を学びます。自由時間では、アートクラスに参加したり、ハイキング、川での水遊び、地域の人々の家庭でのホームステイなど様々な異文化体験を経験します。

スタッフ手作りのお洒落な
グルーンウォルド・ギルドの標識

High School

高校

英語って楽しい、おもしろい！

―ルーテル・イングリッシュ・サマーキャンプ開催―

2年7組　池田明香里

7月31日～8月2日までの3日間、阿蘇でイングリッシュ・サマーキャンプが行われました。発音練習や英語劇、ピザ作りなどのさまざまな活動がありました。

最初は自分の英語が通じるか不安でした。しかし、活動を通して、次第に英語を話すことが楽しくなっていきました。このキャンプで正確な英語を話す力はもちろんのこと、「『伝えたい気持ち』が言葉の壁を打ち破るカギになること」を学ぶことができました。3日間で培った積極性を今後の英語学習を始め、多くの場面で活かしていきたいです。

1年8組　井ノ上純花

恵まれた気候の中、2泊3日のキャンプで実践的な英語の力を高めることができました。中でも、自分たちで物語や台詞を考えて演じた英語劇や満点の星空の下で行なわれたキャンプファイヤーは、どちらもとても楽しく、大切な思い出となりました。

このキャンプで学んだ英語はもちろん、グループ活動を通して身につけた協調性やコミュニケーション力を、これからの学校生活で活かしていきたいです。

“English”での演劇

グローバル特集

Junior High School

中学校

英語でスピーチ&コミュニケーション

―ルーテル学院中学校英語暗誦大会―

英語科 教諭 濱﨑 庸一

第35回ルーテル学院・九州学院合同英語暗誦大会は、10月8日に本校を会場に行われる予定でしたが、台風接近で中止となりました。代替日を検討しましたが、お互いの日程が合わないため、10月11日、ルーテル学院中学校英語暗誦大会として、単独での開催となりました。

プログラムは各学年3組ずつ、計9組が学年の枠を越えた順番で発表しました。どの組も1か月以上、早朝や放課後に練習してきた成果をいかんなく発揮してくれました。表彰は、①学年の枠を越えた総合順位、②各学年優勝、の2部門で行いました。結果は以下のとおりです。

会場となった中高礼拝堂

①総合の部

優勝 1年 木村のえる、小佐井真琳、生田龍進、渡辺嵩

2位 2年 蓑田元希、立山璃音、内山央、髙濱杏実

3位 2年 佐藤はな、去川聖奈、宮川智慧、平井美羽、2年 後藤夏季、酒井明日香、冨岡麗奈、西村彩

②学年優勝の部

1年 木村のえる、小佐井真琳、生田龍進、渡辺嵩

2年 蓑田元希、立山璃音、内山央、髙濱杏実

3年 小森田美咲、上林彩乃

学年優勝の1年3組は10月21日に行われた私立支部中学校英語暗誦大会へ出場しました。惜しくも入賞はなりませんでしたが、それぞれ本校代表として立派な発表をしました。

英語でインタビュー

Kindergarten

幼稚園

英語であそぼう!

グローバル化が進行するにしたがって、世界のコミュニケーションツールである「英語」教育の重要性がますます高まっています。そこでは、英語を母国語としない子どもたちに早くから英語を学ばせる（に親しむ）ことについても、注目が集まっています。

ルーテル学院幼稚園は「『あそび』から学ぶ」が教育の基本方針です。この〝あそび〟に英語を取り入れたのは8年ほど前からです。年中・年長組を対象に、子どもの五感を大切に目や耳から入ってくる英語に自然にふれることを目的にしています。「英語を覚える」ということではなく、「英語に慣れ親しむ」ことを第一にしています。当然のことですが、教科書やノートもありません。

講師は大学のケビン・アクストン先生。先生は毎回子ども達が興味をそそる食べ物や動物等のイラストや教材を準備され、大きな声とジェスチャーを交えて楽しく教えていただいています。

アクストン先生は「子どもは〝楽しい〟と感じれば、集中してくれる。楽しめる雰囲気づくりが重要。ただ、大学生と違い、元気があり過ぎるので、授業後はヘトヘトになります（笑）。」と話してくれました。

「ハーイ」と手をあげて楽しく参加する園児（年長組）
中央がケビン・アクストン先生

LUTHER SPOTLIGHT ルーテルスポットライト

受賞おめでとうございます

文部科学大臣賞　中原　宏子さん（元中高PTA会長）

荒木精之賞　工藤　勇壹先生（元中高教諭）

10月5日、メルパルク熊本において、工藤勇壹（たけかず）先生の荒木精之賞、中原宏子さんの文部科学大臣賞の受賞祝賀会が開催されました。工藤先生は長年にわたり本校で奉職され、音楽分野において全国大会にも出場されました。合唱団・オペラの指導が評価されての受賞です。

中原さんは本校のPTA活動において会計の適正化や東日本大震災被災地への生徒ボランティア派遣などに尽力されての受賞です。

祝賀会には約200名が出席し、芸術分野、保護者会のほか、卒業生が全国から駆けつけました。

ルーテル学院高校生によるハンドベル演奏で始まり、発起人代表の林田博文校長の開会挨拶の後、清重尚弘院長からは、お二人へ受賞の喜びとその経緯を話されました。

受賞者のお二人から謝辞が述べられた後、森本孝氏（熊本第一信用金庫会長）のご発声で祝宴に入りました。

教え子である合唱部卒業生が工藤先生の指揮のもと、「御神は我が羊飼い」・「ハレルヤ」を歌い、すてきな歌声に会場は包まれました。また、各テーブルでは高校時代やPTA活動の思い出話に花が咲き、喜びと感謝の時を持つことができました。

最後は皆で讃美歌を歌い、田畑英一教頭の万歳三唱で会を閉め、祝賀会を豊かなうちに終えることができました。

ルーテル学院高校生によるハンドベル演奏

卒業生が一堂に会しお祝いの歌

聖書の言葉

『素直な態度』

新約聖書のローマの信徒への手紙第8章27節にこうあります。「人の心を見抜く方は、『霊』の思いが何であるかを知っておられます。『霊』は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。」この言葉から、神様に取るべき人の態度が示されています。つまり神様への素直さです。

私は日本に来てから、よく聞かれた問いがあります。それは「中国人として、日本で一番気づいたことは何ですか?」という問いです。私は既に長く日本に住んでいるので、ほぼすべてに馴染んだのです。それにしても、ただ一つのことだけに今でも違和感を覚えます。それは政治家の失言です。またその失言について一旦謝ったら、民衆に赦（ゆる）されることです。

私はいつも「なぜ失言したのか」を不思議に考えています。失言の原因は多分こうでしょう。つまり口で言うことと本音が違うことです。

もし1960年代、中国の「文化大革命」の時代にこのように失言したら、処刑されるかもしれません。理由は二つあります。一つは、失言は人の本当の心から洩れたことだからです。もう一つは、当時の中国政府は人の不満が分かっていても、みんなが不満を言わないので証拠がなく、断罪できないからです。

さて、人には本音があり、それを隠すこともあります。しかし神様は人の心を見抜くお方だと、聖書は教えています。皆さんは心を見抜いている神様を恐ろしく思うでしょうか?寧ろ喜びでしょうか?考えてみてください。人の親は幼い子の心も行動も全部知っています。子どもはそれを恐れません。安心しています。

人の心の内にあるものを全て知っている神様の存在は人にとって喜びなのです。どうか、この神様に素直な態度を整えましょう。

大学チャプレン　黄（ホワン）　大衛（ダーウェイ）

黄チャプレン

「歴史の扉」～その時ルーテル学院は～

九州女学院（高女）15回生　碩　定子
（旧姓：与縄）

ルーテル学院中学・高等学校の本館と図書館、それと、エカード会館にステンドグラスがあるのをご存じですか？
このステンドグラスを制作・デザインされたのが九州女学院（高女）15回生の碩定子さん。碩さんに当時の思い出を語っていただきました。

私が女学院に入学した頃は、日本もまだ平和な時代でした。院長先生は、アメリカ人の、マーサ・B・エカード先生。英語は、パッツ先生…と国際的で、モダンな女学校でした。

冬は各教室にスチームが入り、寒さを感じることもなく勉強が出来ました。そののどかな生活が昭和16年18月8日、大東亜戦争が始まり、平和が一変。5年生の時は、軍事工場で働き、ほとんど勉強が出来なくなりました。外国から来られた先生は、皆帰国され、戦時一色になりました。

「聖戦だから必ず勝つ。」と信じて日本のためにと働きましたが、日本は負けました。日本を良くも、悪くも沢山見てきたような気が致します。

その後、結婚、出産（男の子2人）、次男が私の後のステンドグラス教室を継いでくれ、現在に至っております。光の芸術である、ステンドグラスに出会えた事は私の一生の誇りでもあります。今年86歳となりましたが、自分の好きな仕事が出来、今のところ健康で有る事を神に感謝します。

高女時代の碩定子さん

熊本市西区でステンドグラス教室を営む碩さん

エカード会館（1996年作）

ルーテル学院中学・高等学校本館（1989年作）

Luther Information

■ 2014年度の入試日程が決まりました ■

九州ルーテル学院大学

入試区分	出願期間	試　験　日
一般Ⅰ期・帰国生及び私費外国人留学生・編入生	1月20日(月)～1月30日(木)	2月8日(土)
センター試験利用	2月3日(月)～2月12日(水)	本学独自の試験は実施せず
一般Ⅱ期	2月20日(木)～2月27日(木)	3月8日(土)

ルーテル学院高等学校

入試区分	出願期間	試　験　日
専願・奨学	1月9日(木)～1月17日(金)	1月22日(水)
一般	2月7日(金)～2月14日(金)	2月20日(木)

ルーテル学院中学校

入試区分	出願期間	試　験　日
専願・奨学前期	12月2日(月)～12月12日(木)	12月14日(土)
一般前期・奨学後期	12月18日(水)～1月16日(木)	1月18日(土)
一般後期	1月22日(水)～2月6日(木)	2月8日(土)

ルーテル学院幼稚園

願書受付	面　　接
受付中	願書受付時にお知らせします

詳しくはそれぞれのホームページをごらんください。　ルーテル　検索

創立90周年記念事業の寄付のお願い

九州ルーテル学院は2016年に創立90周年を迎えます。
この間、多くの皆様のお支えにより、学院はますます発展し、九州・熊本におけるミッションスクールの代表校としての存在感を高めてきました。
この創立90周年を大切な節目として記念事業を起こし、学院の教育力をさらに充実させ、それにふさわしい施設を整えることになりました。

設備整備事業は、次の3点を柱に行われます。

1. 学院正門周辺整備
2. 中高パイプオルガンの更新
3. 幼稚園の施設充実

つきましては、皆様にご協力をよろしくお願い申し上げます。
なお、本学院への寄付金は税の減免措置を受けることができます。

詳しくは　九州ルーテル学院　創立90周年記念事業委員会
TEL096-343-3111までお問い合わせください。

Luther
ルーテル学院報（時報）
No.5

発　　行　学校法人　九州ルーテル学院
発 行 人　清重　尚弘
発 行 日　2013年12月2日
編　　集　ルーテル学院報編集委員会
印　　刷　㈱新生社印刷　熊本支店

ご意見・ご感想は編集委員会まで
〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111